



レスポンスブル・ケア

JSR株式会社

取締役社長 小柴 満信 殿

「CSR Report 2009」 第三者検証 意見書

2009年7月6日

日本レスポンスブル・ケア協議会
検証評議会議長

山本 明夫

レスポンスブル・ケア検証センター長

中田 三郎



■ 検証の目的

レスポンスブル・ケア報告書検証は、JSR株式会社が作成した「CSR Report 2009」(以後、報告書と略す)を対象として、下記の事項について、化学業界の専門家としての意見を表明することを目的としています。

- 1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性
- 2) パフォーマンス指標(数値)以外の記載情報と証拠資料・証拠物件との整合性
- 3) レスポンスブル・ケア活動の評価
- 4) 報告書の特徴

■ 検証の手順

- ・本社において、各サイト(事業所、工場)から報告されるパフォーマンス指標の集計・編集方法の合理性に関する調査及び報告書記載情報と証拠資料との整合性の確認を各業務責任者及び作成責任者に質問すること並びに資料提示・説明を受けることにより実施。
- ・千葉工場において、本社に報告するパフォーマンス指標の算出・集計方法の合理性、数値の正確性に関する調査及び報告書記載情報と証拠資料・証拠物件との整合性の確認を各業務責任者及び作成責任者に質問すること並びに資料提示・説明を受けることにより実施。
- ・パフォーマンス指標及び記載情報の検証についてはサンプリング手法を使用。

■ 意見

1) パフォーマンス指標(数値)の算出・集計方法の合理性及び数値の正確性

- ・パフォーマンス指標は本社および千葉工場において、RCパフォーマンス管理表を使用して効率的に自動集計されています。
- ・調査した範囲において、パフォーマンスの数値は正確に算出・集計されています。

2) 記載情報の正確性について

- ・報告書に記載された情報は正確であることを確認しました。原案段階では表現の適切性あるいは文章のわかりやすさに関し若干指摘事項が認められましたが、現報告では修正されており現時点では修正すべき事項は認められません。

3) レスポンスブル・ケア活動の評価

- ・社長自らが環境・安全内部監査のトップとして工場・研究所の内部監査を毎年実施していることを評価します。
- ・揮発性有機化合物(VOC)の排出削減に全工場で取組み、前年に比し大幅に減少したこと、また騒音・遮光対策として新グランドフleaーを設置し地域環境の改善に積極的に取組んでいることを評価します。
- ・CO₂排出量削減への取組について、今年度から総量削減の目標設定に改善したことを評価します。
- ・安全への取組については、全社で2年間休業災害ゼロ、また特に千葉工場では22年間休業災害ゼロを継続していることを評価いたします。今後JSRグループおよび協力会社の安全成績改善を期待します。

4) 報告書の特徴と意見

- ・報告書は社長のトップコミットメントと特集記事を掲載しJSRグループのCSRへの取組がわかりやすく記載されています。またCSR活動の充実のため新たに生物多様性への取組を開始したこと、社会貢献活動、および出産・育児・介護等の柔軟な働き方への支援内容を紹介している点を評価します。
- ・今年度から報告書はCSR活動のハイライトを示した「冊子版」と具体的な活動の詳細情報を記載した「Web版」の2部構成に改訂されています。新しい試みとして評価しますが、「Web版」についてはステークホルダーの皆様にも、より一層見やすく、読みやすくなる様(別冊版も含めて)工夫されることを期待します。

以上